

平成 27 年度 法人本部 事業計画

1 中長期計画の策定およびサービスの基盤整備にとりくむ

- ① 中長期計画の下で、地域ニーズに応える施設づくりと新たな機能・設備等の施設・事業の再整備を検討する（各エリア事業検討委員会）
- ② 法人財務指標の達成による財務の安定化をはかる（財務委員会）
- ③ 人材確保と育成および職員配置の適正化を目指す（労務人事委員会）
- ④ 組織体制の更なる整備のため職位職責の明確化および専門職共通部門のチーム編成の検討を開始する（事業推進本部会議）

2 地域に信頼される拠点づくりに取り組む（各施設）

- ① 地域(利用者)ニーズを的確に把握し、事業に反映する
- ② ケースマネジメント力を強化する（必要な家族支援を位置付ける）
- ③ 各事業の更なるサービス提供力の向上を図る
- ④ 自然災害、火災をはじめとし、利用者の安心・安全に向け、日々のリスクマネジメントを徹底するとともに、地域における体制と連携のあり方に具体的に取り組む

3 制度、法令等根拠に基づく適正業務の遂行に取り組む（法人 ⇄ 施設）

- ① 職員一人ひとり、日々の情報の共有および業務の記録に自覚をもって努める
事業管理者は、月次の結果を施設長に報告するなど、日々の業務管理（適切なサービス提供の確認・勤務マネジメント）を徹底する。
- ② 施設長は、確実なリスクマネジメントを行うとともに、サービスの向上を図る
- ③ 家族支援システムの活用により法令遵守と並行してサービスの向上に努める
- ④ 適正業務遂行のチェック機能強化のため、監事による事業単位の定期的な事業監査を実施し、事業推進本部会議で改善をはかる
- ⑤ 事業計画を推進するために事業推進本部会議を設置し、各事業ごとの推進会議、連絡会を活性化する。

4. 特記事項

- ① 千代田区高齢者総合サポートセンターの開設準備（4月～12月）及び事業開始（平成28年1月）
社会福祉法人東京栄和会と協働受託事業
- ② 府中市立あさひ苑指定管理者最終年度 → 次期指定に向けての取り組み
- ③ 韓国一松学院交換研修10周年記念公開セミナー双方開催（6月韓国 7月日本）

